

## 平成23年度、24年度「東日本建築教育研究会 資格取得推進委員会」資格・検定に関するアンケート

平素より本研究会活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

標記の年度において、建設系企業様に「工業高校生の入社条件」「建設業界で必要と資格・検定試験」「工業高校へのご意見、ご要望」に関するアンケートを実施しました。

以下のようなアンケート結果となりましたのでご報告いたします。

ご協力いただきました企業様には、お忙しい中アンケートにご協力いただきまして感謝申し上げます。

貴重な情報やご意見をいただき今後の教育に活かしていきたいと思っております。

## 依頼書

関係各位

東日本建築教育研究会  
会長 豊田 善 敬  
(東京都立蔵前工業高等学校長)

「資格・検定試験」に関するアンケートのお願い

拝啓 皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より、工業高校教育にご理解、ご協力を賜り感謝しております。

本研究会の「資格取得推進委員会」では、高校在学中に挑戦できる資格・検定試験の受験環境向上のために活動しております。

さて、既にご承知の通り、「2級建築施工管理技術検定試験」学科試験の合格有効期間は6年間と建設業法の政令（平成17年政令第214号）で定められており、有効期間を過ぎると再度、学科試験から受験する必要があります。

若年者の建設業界への就職希望者数が減少している実状を考えると、現在の資格制度は建設業界全体にとって好ましくない状態だと思われまます。

建設系の高校、大学の卒業者数は、毎年ほぼ決まっております。こうした中、優秀な人材になり得る技術者、技能者の数を一定以上確保する意味でも「2級施工管理技術検定試験」学科合格の有効期間が廃止されることが、ものづくり産業の裾野が広がり、我が国の発展につながると確信しております。

上記の事情から、「2級施工管理技術検定試験」学科試験合格における有効期間、廃止についてのお願いを、前原誠司元国土交通大臣に陳情を行いました。（平成22年3月23日に国会、国土交通省を訪問）

現時点では、有効的な回答をいただけておりません。そこで、今後、建設業界からのお力添えをいただきながら、要望実現のための活動をしていきたいと思っております。

また、工業高校教育では、建設業の重要な試験である「建築士」・「施工管理技術検定試験」の卒業後の合格を視野に置いて指導しています。そして、在学中に受験可能な資格・検定試験を積極的に受験させていきたいと考えております。

工業高校生が在学中に身に付けておくべき内容についてお教えいただき、今後の指導に役立てていきたいと思っております。

つきましては、趣旨をご理解いただき、別紙アンケートにお答えいただけますようお願い致します。

敬具

# アンケート結果

回答企業数 **126社+2団体**

栃木県 77 社、東京都 5 社+2 団体、埼玉県 4 社、群馬県 25 社、千葉 15 社

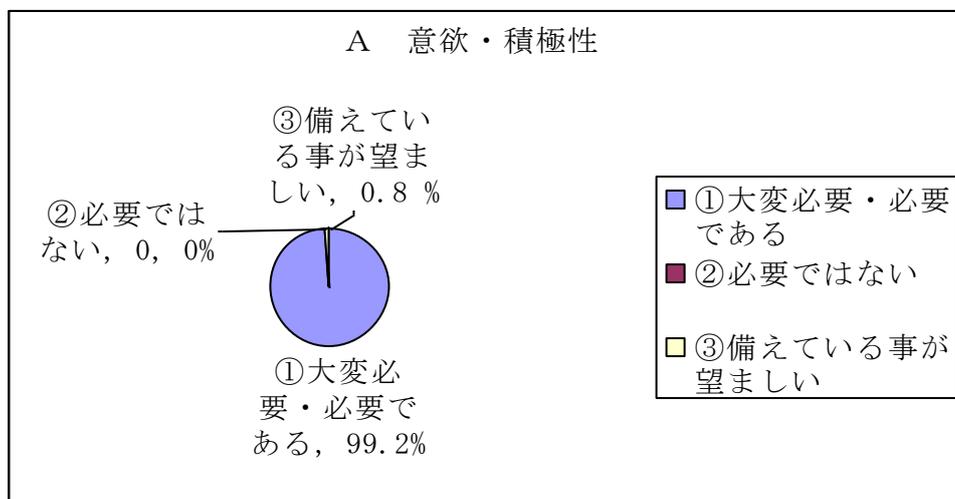
下記、設問に該当する回答番号に○印、又は数字等をご記入下さい。

## 1. 工業高校生が入社する際に、貴社が求めているものは何ですか？

### A:意欲・積極性

- ① 大変必要である ② 必要である ③ 必要ではない ④ 備えている事が望ましい  
 80.5% 18.8% 0% 0.8%

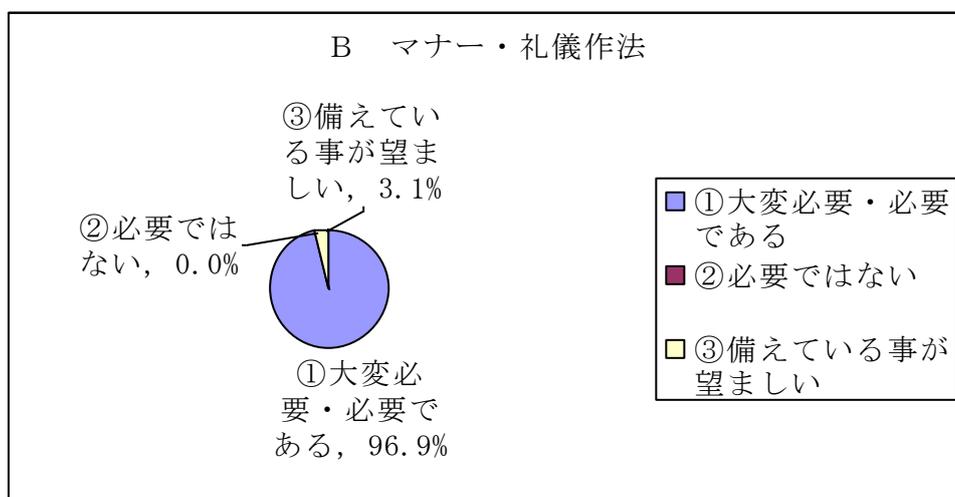
①②合計 **99.2%**



### B:マナー・礼儀作法

- ① 大変必要である ② 必要である ③ 必要ではない ④ 備えている事が望ましい  
 44.5% 52.3% 0% 3.1%

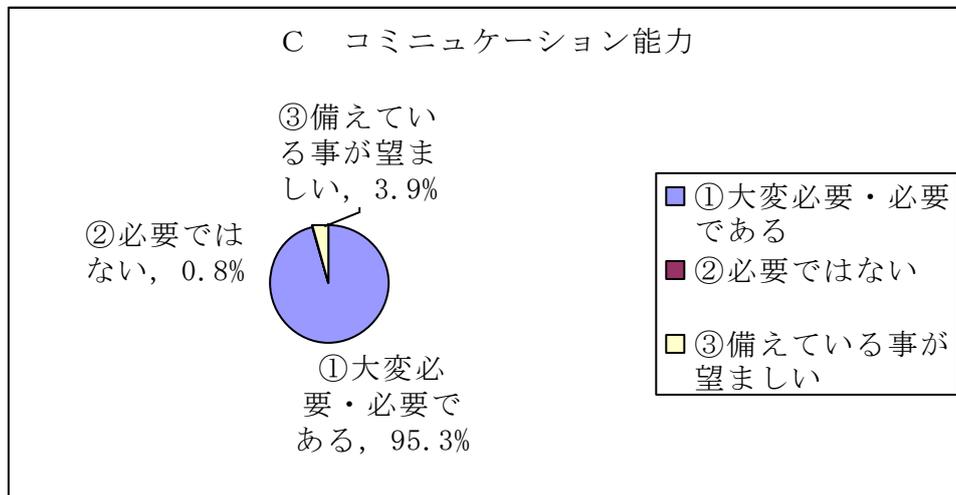
①②合計 **96.9%**



**C:コミュニケーション能力**

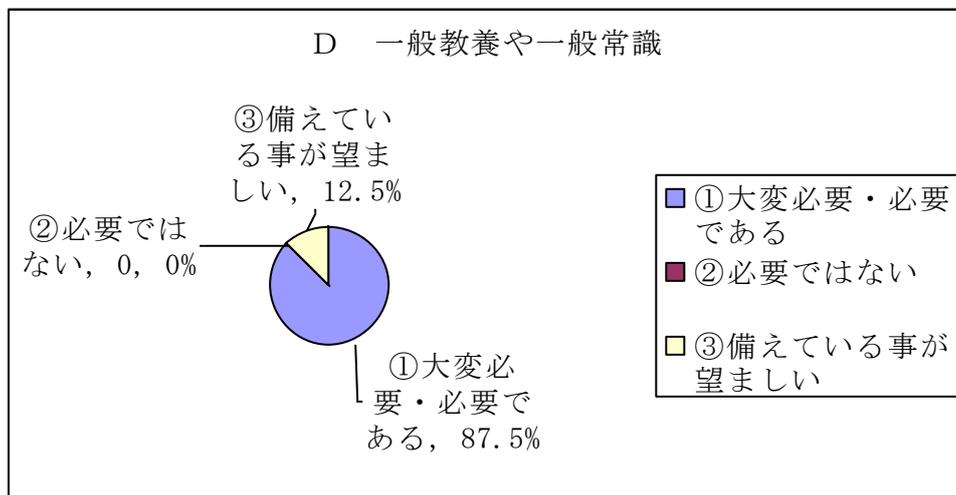
- ① 大変必要である ② 必要である ③ 必要ではない ④ 備えている事が望ましい  
**53.1%** 42.2% 0.8% 3.9%

**①②合計 95.3%**

**D:一般教養や一般常識**

- ① 大変必要である ② 必要である ③ 必要ではない ④ 備えている事が望ましい  
 18.0% **69.5%** 0% 12.5%

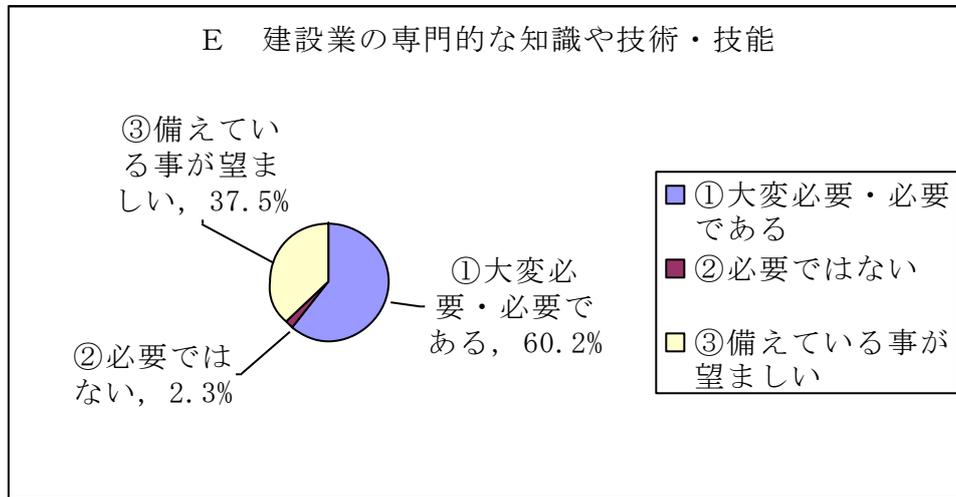
**①②合計 87.5%**



**E:建設業の専門的な知識や技術・技能**

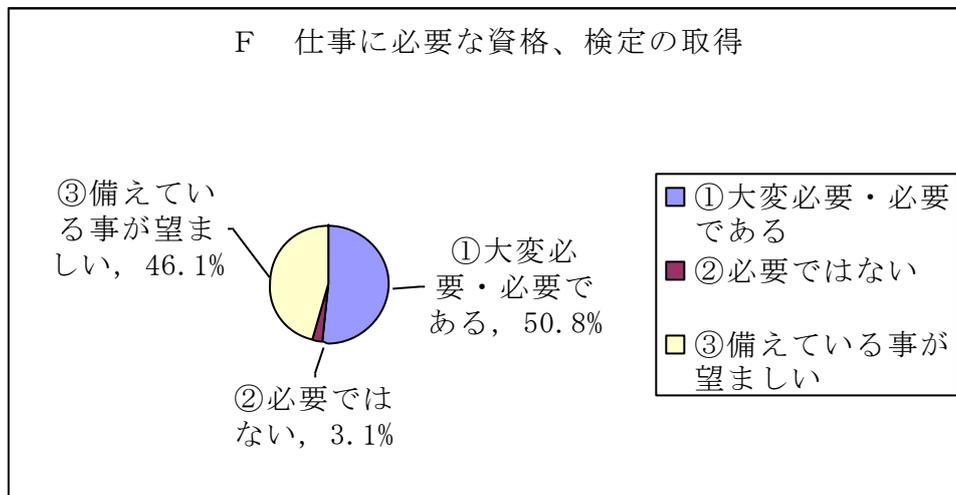
- ① 大変必要である ② 必要である ③ 必要ではない ④ 備えている事が望ましい  
 14.8% 45.3% 2.3% 37.5%

①②合計 60.2%

**F:仕事に必要な資格、検定の取得**

- ① 大変必要である ② 必要である ③ 必要ではない ④ 備えている事が望ましい  
 25.0% 25.8% 3.1% 46.1%

①②合計 50.8%

**G:その他(具体的な内容をお教え下さい)**

- 心身ともに元気であること。
- 勤務態度、及び、周囲の人との強調性。
- 注意される、叱られることに弱い新人が多く感じられます。粘り強さ、打たれ強さも必要だと思います。
- 仕事に対する応用力をつけること。
- 元気なあいさつ、学ぼうとする意欲。
- 積極性やコミュニケーション能力が必要と思います。コミュニケーションがとれないことは、仕事が続かなくなってしまう大きな原因のひとつだと思います。

- 私共の会社では知識よりも技術が重要だと考えております。社会に出て沢山の経験を積んでいくと思うので意欲さえあれば多少勉強が出来なくても良いと思います。
- 入社してから指導できるので資格やマナーは必ず必要でない。
- 意欲・積極性と関連しますが「元気が良い」が最低条件です。
- 短期、中期、長期のそれぞれの目的があれば良い。
- 技術力の取得向上と人間性の向上と意欲のある人材。
- あいさつがしっかり行えるか否かは重要だと思う。
- 社会人としてACは特に重要です。
- 備わっているに越したことはないが当社で指導出来ると思う。
- 基本的な事項、常識だと思われる事項、元気！。
- 入社してからの目標（3年、5年先の目標）。
- 運動部に所属（特に野球部等、女子はマネージャー等）、字が綺麗（書道、ペン字等）。
- 体力。
- 資格検定は入社後に取得できるので特に必要ではない。持っていた方が良いと思うが。
- 専門的知識・技術も大事であるが、なによりも意欲が大事である。
- 入社の際に特に専門資格は必要ないが運転免許は必要である。それよりも明るい性格と人とのコミュニケーションが取れる方が望ましい。知識は入社後に教育します。
- 本人の自主性を尊重しますが、将来的に独立の方向に進める技術職で有るので「大きな夢」がほしい。
- やる木、本気。
- やる気が一番大切です。
- 測量士の資格（測量士補では意味がない）
- 全てが大変必要です。今の高校生の多くに備わっていません。
- ①建設ものづくりが好きで、現場で働くことを希望していること。②決められたルール・規則を守って仕事をすることができること。
- 入社後、最初の2ヶ月間に研修合宿（富士教育訓練センター）を実施し、資格取得（技能講習・特別教育）・安全衛生教育を実施し、現場に送り出す万全の体制を備えている。

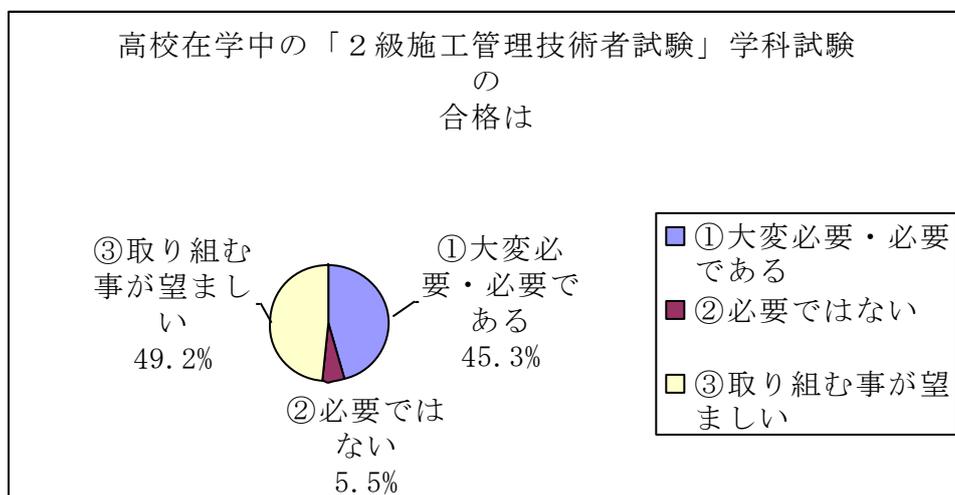
## 2. 高校在学中の「2級施工管理技術者試験」学科試験、合格について（卒業学年が受験できます）

工業高校卒業者が「1級施工管理技術検定試験」を受験するためには、**2級合格が必要条件**になります。

高校在学中に、「2級施工管理技術検定試験」学科試験に合格しておくことは必要ですか。

- ① 大変必要である 22.7%    ② 必要ではない 22.7%    ③ 必要ではない 5.5%    ④ 備えている事が望ましい 49.2%

①②合計 45.3%



### 3. 「2級施工管理技術検定試験」学科試験の有効期間(6年間)廃止に関する陳情活動について

本研究会では、学科試験の有効期間、廃止に関する陳情活動を行っています。

こうした、学科試験の有効期間、廃止に関する活動は必要ですか。

- ① 大変必要である ② 必要である ③ 必要ではない ④ 取り組む事が望ましい

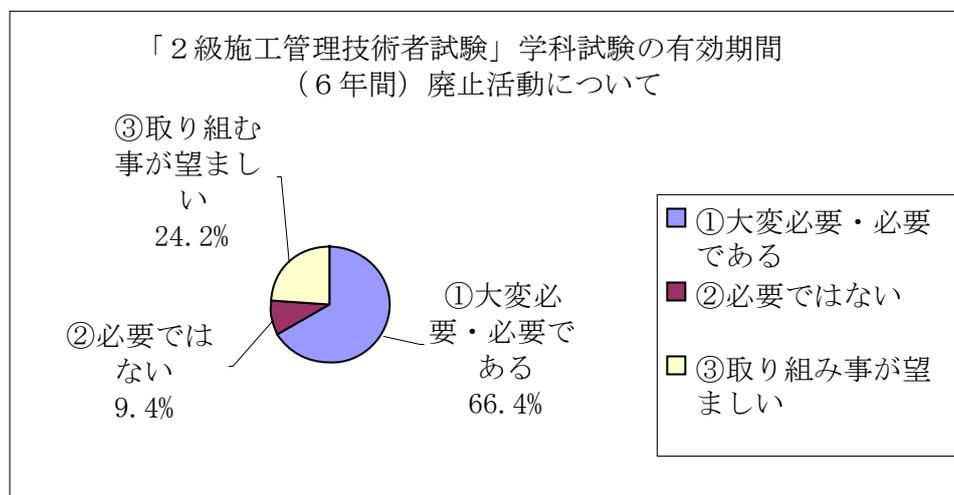
30.5%

35.9%

9.4%

24.2%

①②合計 66.4%



### 4. 建設業界で必要としている下記の資格、検定試験の番号に○印をお付け下さい。(複数回答可)

- |                          |       |                    |       |
|--------------------------|-------|--------------------|-------|
| ① 1級建築士                  | 64.1% | ② 2級建築士            | 44.5% |
| ③ 1級施工管理技術検定試験           | 90.6% | ④ 2級施工管理技術検定試験     | 68.0% |
| ⑤ 木造建築士                  | 9.4%  | ⑥ CAD検定 (建築CAD検定等) | 18.8% |
| ⑦ 建設機械の運転免許 (大型特殊免許等)    | 46.1% | ⑧ クレーン免許           | 17.2% |
| ⑨ 測量士                    | 18.8% | ⑩ 測量士補             | 20.3% |
| ⑪ 建設業経理検定など (経理業務に必要なもの) | 39.1% | ⑫ 宅地建物取引主任者        | 10.9% |
| ⑬ 建築大工 技能検定              | 9.4%  | ⑭ とび、技能検定          | 8.6%  |
| ⑮ インテリアコーディネーター          | 7.2%  | ⑯ インテリアプランナー       | 3.9%  |
| ⑰ 福祉住環境コーディネーター          | 9.4%  | ⑲ 危険物取扱者 (乙種4類など)  | 7.8%  |
| ⑱ 色彩士検定                  | 2.3%  | ⑳ カラーコーディネーター      | 5.5%  |
| ㉔ その他 (試験名をお教え下さい)       |       |                    |       |

○1, 衛生管理士 2, 土木施工管理技術者。

○目標とする建設での専門的な仕事によって資格取得を目指すこと。

○玉掛け。

○エクステリアプランナー。

○資格は建設業界としては各々の業種に於いて知識、技量として必要。

○質問内容とは別ですが余りにも資格、検定試験が多すぎる。もう少し整理して少なくすべきと思う。

○1級土木施工管理技士。

○全て取る方が良い。

○1, 2級鉄骨製作管理技士、溶接管理技術者、非破壊検査技術者等。

○専門工事業 (鉄筋工事) としては、どこまで、・・・いるのか。

○地質調査技士。

○(財)全国建設研修センターにおける「宅地造成技術講習」。

○技術士補、RCCM, 土地区画整理士、地質調査技士、補償業管理士。

○玉掛技能講習、移動式クレーン技能講習、1, 2級建設機械施工技士。

5. 下記の資格・検定において、資格手当がある番号に○印を付け、可能であれば資格手当の金額をご記入下さい。(複数回答可)

平均額 (最高額/最低額)

- |                                                               |                                                       |
|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| ① 1級建築士<br>68社<br><u>17,818円 (50000/3000)</u>                 | ② 2級建築士<br>62社<br><u>7,981円 (30000/1000)</u>          |
| ③ 1級施工管理技術検定試験<br>83社<br><u>14,438円 (50000/3000)</u>          | ④ 2級施工管理技術検定試験<br>68社<br><u>6,389円 (20000/1000)</u>   |
| ⑤ 木造建築士<br>5社<br><u>4,333円 (5000/3000)</u>                    | ⑥ CAD検定 (建築CAD検定等)<br>2社<br><u>3,000円 (3000/3000)</u> |
| ⑦ 建設機械運転免許 (大型特殊免許等)<br>7社<br><u>8,750円 (20000/2000)</u>      | ⑧ クレーン免許<br>4社<br><u>3,000円 (5000/1000)</u>           |
| ⑨ 測量士<br>16社<br><u>8,545円 (20000/2000)</u>                    | ⑩ 測量士補<br>10社<br><u>4,571円 (10000/1000)</u>           |
| ⑪ 建設業経理検定など (経理業務に必要なもの)<br>47社<br><u>7,681円 (28000/1000)</u> | ⑫ 宅地建物取引主任者<br>27社<br><u>8,500円 (20000/2000)</u>      |
| ⑬ 大工、技能検定<br>2社<br><u>支給あり</u>                                | ⑭ とび、技能検定<br>0社<br><u>支給なし</u>                        |
| ⑮ インテリアコーディネーター<br>4社<br><u>6,666円 (10000/5000)</u>           | ⑯ インテリアプランナー<br>0社<br><u>支給なし</u>                     |
| ⑰ 福祉住環境コーディネーター<br>3社<br><u>4,333円 (7000/1000)</u>            | ⑱ 危険物取扱者 (乙種4類など)<br>6社<br><u>1,500円 (2000/1000)</u>  |
| ⑲ 色彩士検定<br>0社<br><u>支給なし</u>                                  | ⑳ カラーコーディネーター<br>0社<br><u>支給なし</u>                    |
| ㉑ その他 (試験名をお教え下さい)                                            |                                                       |

- 衛生管理士。
- 建設業経理検定等 6000～22000円。
- 建設業経理事務士。
- 各種資格取得時に補助あり。
- 建設業経理検定は 5000～10000円 (平均 7500円 で入力)。
- 建設業経理検定は 5000～10000円 (平均 7500円 で入力)。
- 1級土木施工管理技士。
- 建設業経理検定 1級 20000 2級 10000 3級 5000。
- 資格ではなく個人の能力や取り組む姿勢にて給与を決めており特に資格手当とはしておりません。
- 当社は手当制度を取っていない。総合的に給与に反映させている。
- 資格手当としては設定しませんが、基本的に差が出ます。
- 建設業経理検定は 500～20000円。建築技術検定 500～1000円。

- 1級施工：土木 10000 円、建築 5000 円。
- 建設業経理検定：1級 10000 円、2級 5000 円。
- 建設業経理検定：1級 20000 円、2級 10000 円。
- 取得時支給 1級建築士、施工管理 10 万円、2級建築士、施工管理 5 万円。
- 石綿作業主任者 1000 円等々。
- 建設業経理検定は 1 級、28000 円。
- 建設業経理検定 1 級 3000 円、2 級 1500 円。
- 甲、乙 2000 円、丙 1000 円。
- 1 級鉄骨製作管理技士 5000 円。
- 他に合格祝金制度あり。
- 1 級土木、造園、管施工管理技術検定。
- 弊社には資格手当はございません。
- 2 級舗装、2 級管工事 5000 円。
- 各資格手当は 5000 円～30000 円の範囲で、本人の能力を加味して決定する。
- 1 級舗装施工管理技術者 5000 円。
- 建設業経理検定 3000 円～10000 円。
- 土地家屋調査士（？不明文字多数） 25000 円。
- 舗装施工管理技士。
- 登録型枠基幹技能者終了証、75000 円。
- ファイナンシャルプランナー、⑩ 1 級 10000 円、2 級 5000 円 ⑪は 2 級。
- 地質調査技士：15000 円。
- 会社は必要としている試験に合格した場合に支給する。3～10 万円。
- 建築関係業ではないが、建築士資格は補償コンサルタントで建物調査、査定で必要です。技術士補 R C C M, 土地区画整理士、地質調査技士、補償業管理士は 5000 円～10000 円。
- 1 級機械施工管理技士 3000 円、2 級機械施工管理技士 1000 円。

**6. 上記資格・検定試験で、合格祝金や、受検料の援助をしているものがある場合には、上記の該当番号をご記入下さい。**

A：合格祝金

- ① 1 級建築士 ② 2 級建築士 ③ 1 級施工管理技術検定試験 ④ 2 級施工管理技術検定試験  
 ⑨ 測量士 ⑩ 建設業経理検定など（経理業務に必要なもの） ⑫ 宅地建物取引主任者  
 ⑬ 危険物取扱者（乙種 4 類など）
- 

B：受検料の援助

- ① 1 級建築士 ② 2 級建築士 ③ 1 級施工管理技術検定試験 ④ 2 級施工管理技術検定試験  
 ⑨ 測量士 ⑩ 建設業経理検定など（経理業務に必要なもの） ⑫ 宅地建物取引主任者  
 ⑬ 危険物取扱者（乙種 4 類など）
- 

**7. その他、工業高校教育に対するご意見、ご要望がございましたらお教え下さい。**

- 資格取得は努力の結果として評価され、また、即戦力として期待できる所が有利に働きます。それと共に気力、体力、コミュニケーション能力等の社会人として根幹となる部分も重要と考えます。
- 入社後の研修で、工業高校で教わった内容が業務で必要となる事を説明している。
- 自己の心身の資質を高めて世の中のお役に立つ事。資格については一級建築士を取得する事が仕事上必要です。一生勉強です。多くの資格を取る事は勉強の一つの励みです。やれば出来る、人生は楽しく、積極的にプラス思考で。
- 働く事の意義をしっかりと教育する。

- 工業高校には現場実務に近い技術と仕事の楽しさ、やりがいを持たせる教育をお願いしたい。頭でっかちでなく柔軟な思考を持って積極的に体を動かすことをいとわない若者が期待されます。
- 専門的な知識を深めるよりも浅く広い範囲で教育をして頂ければ、その中から自分に合った仕事を幅広く見つけていけると思います。
- 採用しても直ぐに退職する者が多い状況です。それらに付いての教育指導をお願いします。
- 教えてもらえるまで持つのではなく自分から学ぼうとする生徒を育ててください。
- 入社後も、資格取得推進をしております。在学中に資格取得に励むことは重要だと思います。
- 学校生活と社会に出てからの生活の違い、特に挨拶やマナーの大切さを教育していただくとありがたい。
- 建築設計の仕事はとても楽しい反面、厳しい仕事でもあります。入社したものの技術を習得する前に厳しさに耐えきれずやめてしまう人も多く見られます。よりよい建築技術者となる為にはまずは建築に興味を持ち楽しみながら学ぶことが必要と思います。その為、資格ではなく意欲や積極性、コミュニケーション能力を重視をします。その特に資格は、その人の意欲や積極性を表す重要な役割を持つと思います。ですので、資格があるので何かができるのではなく、その努力した証として資格があると思います。その意味では、やはり学生のうちにチャレンジしていく事は、将来の技術者にとってはとても重要ではないでしょうか。
- 何事も、出来ない理由を探すのではなく、成し遂げるための工のできる人間が素晴らしいと思います。
- 測量機器を使用した実習がない学科があるようなので、使い方くらいは教えておいて欲しい。
- あまりにも元気がない生徒が多いことにびっくりしています。
- 一般常識はもとより学習する力をつけて欲しい。やる気・熱意を持ち粘り強い人材を育ててもらいたい。
- 1 の E, F は経験を積んでからでも遅くないと思う。三年間では無理であるのでは。資格があれば雇用する方はそれにこした事はないが、なんと言っても大切なのは 1 の A~D だと思います。
- 入社して業務にかかわるようになると、資格試験のための勉強が時間が取れず難しくなってしまうようです。その辺の対策をどうするか考えなければなりません。
- 弊社は土木、舗装を主体としており、建築のことが分かりません。（建築の会社では 4 の ① ②⑤~⑩が必要かもしれません）社会に出れば勉強する時間が少なくなるので、有効期間はむしろ延ばすべきだと思います。
- 明朗快活な人間の育成を望みます。
- なかなか難しいのですが各個人が達成感を感じられるように目標を持たせて 1 つだけでもいいので取り組むことをさせてもらいたいです。
- 今後も工業高校の必要性を強く感じます。
- 専門的な知識の習得は必要ですが、大学や仕事を通して学ぶことも、たくさんあります。学業とは違うかもしれませんが、人としての基本的なマナーやルール等についても注力いただきたいと思います。
- インターンシップ希望します。
- 高校の授業を受けることで卒業時に取得できるよない資格を創ったら良いと思います。
- 建設業の魅力を伝えて下さい。
- 私自身工業高校の出身ですが、学校での勉強と、実践では大分違いがあります。基礎を十分に学んで、仕事を覚える意欲の高い人材が欲しいです。
- 建設業人材確保に向け、今後共御指導お願い致します。
- 資格・検定取得よりも人間性教育に力を入れて下さい。

- 20年位前までは資格手当を支給していました。現在は監督員として2級施工管理技士は最近必要であり、全員が持っています。さらに、上級職・管理職になるためには1級が必要です。上級職になれば必然的に昇級となります。建築士は難しく、また、本来設計士の資格の為、施工業者には少ないです。1級建築士は、施工業者はもちろん設計事務所でも不足しています。
- 当社に昨年入社した東総工業の女子は大変優勝で即戦力となっている。社内にもとけこんでいる。意欲のある人ならば毎年採用したい。
- 工業高校教育についてお願いしたいことは、監督管理者になる為の教育は現行で良いが、各技能工育成の為の教育の拡充をお願いしたいです。このままではものをつくる職人がいなくなってしまいます！。
- 子供に夢を与える教育、もの作りの楽しさ。
- 統廃合が多くみられますが頑張って下さい。
- 測量分野としては専門学校を経て入社される方が経験年数で測量士の資格が取得できるのでこちらの方が良い。2級施工管理の有効期間については、有効期間を設けるよりも、CPDの様に継続教育にするのが良いのでは・・・。
- 意欲がなく採用した高校生（建築）の90%が離職、そのため現在は高校生の採用は中止。
- 現場実務（実習）などを充実させて欲しい。
- 技能の実習も授業に取り入れて欲しい（たとえば、足場の組立など）。
- 貴校より採用の生徒（H24年入社）も現場に配属になり、元気に頑張っております。本年度も採用活動につき、ご協力をお願い致します。

## 考察

- ①設問1より、多くの企業が工業高校生を入社する際求めている内容は、A：意欲・積極性、B：マナー・礼儀作法、C：コミュニケーション能力、D：一般教養や一般常識などの人間生成教育を重要視していることが明確になっています。
- ②設問1のE：建設業の専門的な知識や技術・技能、F：仕事に必要な資格、検定に関しても取得や取り組みを重視している企業も多数あることが分ります。
- ③設問2の、高校在学中の「2級施工管理技術者試験」学科試験、合格については、取得が必要と、取得することが望ましいが約半数ずつの回答になっています。  
そして、設問4の建設業界で必要としている資格、検定試験では「2級施工管理技術検定試験」が必要であると回答している企業が68.0%と大変多く、仕事と資格取得の学習を両立することは困難であるため、就職後に仕事円滑に実施するためにも高校在学中の学科合格をしておく必要があることが推察されます。
- ④設問3の、「2級施工管理技術検定試験」学科試験の有効期間（6年間）廃止に関する陳情活動については、必要である66.4%と、取り組む事が望ましい24.2%を合わせると90.6%になり、多くの企業が我々の活動に理解を示してくださっています。
- ⑤設問4の建設業界で必要としている資格、検定試験では、①1級施工管理技術検定試験90.6% ②2級施工管理技術検定試験68.0% ③1級建築士64.1% ④建設機械の運転免許（大型特殊免許等）46.1% ⑤2級建築士44.5% ⑥建設業経理検定など（経理業務に必要なもの）39.1%の順になっています。
- ⑥「建設業経理検定」は1級～4級までが実施されていて、1、2級は国土交通大臣登録経理試験であり称号は建設業経理士に、3、4級は建設業経理事務士の称号になります。  
2級以上は「経営事項審査の評価対象資格」になり、建設経理業務として必要になります。  
資格手当の平均額は7,681円（最高額28000円/最低額1000円）であり、3、4級の合格者に対しても少額ではありますが資格手当を支給している会社もあります。
- ⑦工業高校教育に望むことは、「あいさつ」「コミュニケーション能力」「元気」「ものづくりに対する興味関心」「退職しない」「測量機器を使用した基礎的な実習の充実」等の意見が寄せられています。

最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

担当：資格取得推進委員会委員長 石井直樹（群馬県立前橋工業高等学校 電話 027-264-7100）